



# ぼらんていあ通信

1月号  
通巻 No. 506

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2024年1月23日  
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内  
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: [sagamiva@feel.ocn.ne.jp](mailto:sagamiva@feel.ocn.ne.jp) HPアドレス: <https://sagamiva.info/>

## 2024年

# 新年



会長 加藤 修  
かとう おゆき

会員の皆様には昨年は協会活動にご尽力いただき誠にありがとうございました。

このようにご挨拶には新たな年を迎えたことを喜びの言葉を添えるのが一般的ですが、元日に能登半島で大規模な地震が発生いたしました。被災された方々にお見舞い申し上げます。

原稿を書いている1月13日現在、ライフレインの復旧を優先するため個人ボランティアの受け入れはご遠慮いただいているのですが、時期が来れば各地よりボランティアが駆けつけるものと思われます。最近では毎年自然災害が発生しその復旧過程でボランティアが活躍する機会が増えボランティアという言葉・活動が認知・定着してきたと感じています。

当協会は設立から40年以上経過していますが、設立当初より活動している外出援助や10年ほど前から行っている傾聴活動など対象となる方の日常に密着した活動を主な事業として展開して参りました。協会が取り組んでいる活動は今後も地域社会にとって必要とされるものと考えますが、近年の社会情勢の

変化に対応した対策が求められている時期にきていることを会員の皆様にはご認識頂きたいと思っております。

外出援助を例に挙げますと、定年延長など労働環境の変化や介護タクシー・福祉有償運送団体の増加・高齢者ドライバーによる交通事故の多発などで運転を担うボランティアの確保が難しくなっております。他の活動に関してもボランティア不足が顕著になっており、持続的な活動の確保が課題となっております。

協会が今後も存続するにはどうするべきか検討する時期がきており、現在の協会理事による話し合いで昨年12月より理事経験者・協会庶務メンバーと現協会理事メンバーで協会の在り方に関する会合を発足しました。会合の内容については通常総会の議案書で報告させていただきます。

昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法の分類が5類に移行し、今年是一年を通して行動制限のない活動が可能であると思っております。昨年再開できたボウリング大会やほかほかふれあいフェスタなども昨年以上の成果を得るべく企画を進めていく予定です。

当協会は社会福祉協議会様との協働活動の長い歴史があります。この協働活動についても現在の社会情勢・ニーズに定める活動の検討を進めて参ります。

最後になりますが、皆様のご多幸をお祈りすると共に「ご活躍」「ご協力をお願い致します」。

## ボランティア協会 事務局員 募集

※活動場所：協会事務局 あじさい会館2階中央ボランティアセンター内

※活動内容 ①庶務：週1～2日、1日5時間程度

特定非営利活動法人の事務処理、運営業務の事務処理など。  
簡単なパソコン作業あり。

②事務局：週1～2日、10:00～15:00

ハンディキャップ運行調整、活動や相談の受付、日常的な事務処理、会計処理など

※些少ですが活動費補助制度があります。

連絡・問い合わせ先：

協会事務局 042-759-7982



ぜひ、ご協力ください!!!  
待っています!!!

お知らせ

### 春講座のお知らせ

3月12・19・26日に傾聴を中心の講座を開催します。詳細は同封のチラシをご覧ください。ご参加をよろしくお願い致します。講座検討委員会より

講座のご案内

災害時の連携を考える

かながわフォーラム2024

～多様な支援活動の広がりや連携をめざして～

2024年  
2月7日(水)  
13:30~15:45  
参加無料・オンライン

講演 誰一人取り残さない災害支援をめざす災害支援ネットワークちばの取り組み

令和元年房総半島台風をきっかけに始まった千葉県内の災害支援や、CVOAD発足後これまでの取り組みについてお話を伺います。

講師/災害支援ネットワークちば(CVOAD) 代表 加納 基成氏

\*他に「妊産婦・乳児福祉避難所について」などの災害時の被災者支援に備える取り組みの紹介や、情報交換会など

定員 50名 \*要事前申し込み

対象 県内の自治体、社会福祉協議会、NPO、専門団体、大学、企業の方など

お申込み 1月31日(水)までに、以下のフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/oUWWAZpajfxoY1ov8>

主催：災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ/神奈川県(かながわボランティア活動推進基金21協働事業として開催)

共催：神奈川県社会福祉協議会/神奈川県共同募金会/NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク

お問い合わせ：災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ 事務局 メール [info@minkana.net](mailto:info@minkana.net)

ボランティア協会も

家具転倒防止ボランティアとして活躍しています

～「災害の前にはできること」として家具の転倒防止対策のお手伝いを行なっています～

対象 障がいや高齢のため、自分では家具転倒防止対策ができない人

内容 使用頻度の高い居間や寝室などの現場確認を事前に行い、どのように固定し、費用がどの位になるのかをご相談した上で、施行いたします。

費用 固定用の金具や針金等の材料実費

\*連絡先 NPO法人相模原ボランティア協会 ☎042-759-7982

\*電話受付時間 月曜日～土曜日(祝日以外) 午前10時～午後3時

お気軽にご相談ください!!



相模原の小さな美術館

ふれあいヘルシーレストラン「あい」さんのヤングスタッフさんの作品



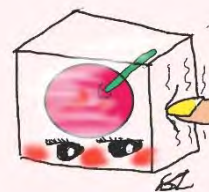
\*協会 HP にはカラー版を掲載しています。ぜひ、ご覧になってください。

2月の記念日は?

小倉義男

2月16日は、寒天の日です。

日本一の寒天の産地、長野県の茅野商工会議所と、長野県寒天水産加工業協同組合が制定。日付は2005年2月16日にテレビの全国放送で寒天が健康食品として紹介され、その後の大ブームにつながったこと、天然の寒天の製造は、この時期に大詰めとなることなどからだそうです。



【出典(一社)日本記念日協会より参照】 小倉画



左から、下山施設長、佐藤支援課長、笹川支援員

### 市内の施設訪問記

虹のよこのびやかこー！  
「利用者の個性が尊重される環境を目指そう！」

今年も残りわずか10日となった12月22日(金)に障がい者支援施設「虹の家」におじゃましました。施設長の下山正明さん、支援課長の佐藤裕樹さん、支援員の笹川尚人さんにお話を伺いました。

#### ★虹の家の創立までの由来は？

平成4年6月1日に開所。町田に住んでいた障がい者の親御さんたち5人が家族会「虹の会」を作り、当時相模福祉村の創設者 赤間一之代表(あかまかずの)にお願いして施設を作っていただいたということなんです。それで「虹の家」と名付けられたというわけです。

#### ★利用者さんの人数、活動の内容は？

入所施設の虹の家60名、通所施設の虹の星30名、ケアセンターやすらぎ30名で、「ドアとドア」の完全送迎を実施しています。

18歳から50歳代の方で構成され、障がいは主に知的障がいの方々です。日中作業として屋内では自主製品の制作と販売を行っています。七色唐辛子は自分たちで育てた唐辛子を使用して作り、フェアなどで販売されると人気です。また、プレスレット、ピースアクセサリー、機織り機で織られた織物などもあります。



野外では自然豊かな土地を利用し烏骨鶏、アローカナの卵、野菜の栽培、販売など多くのメニューを取り揃えて活動しています。これらの製品は虹の家、南区若松にあるインポーサロン、市役所横の豆子の店などで販売されています。また、散歩など皆さんは体を動かすのが大好きです。余暇にはカフオケ、スイーツ作り、講師を招いてのコースなどサークル活動も実施しています。作業や活動に関しては、利用者自身は何をするかを決めて行っています。

地域交流も盛んで、近隣の自治会の催し物への参加、地域防犯のためのパトロール、道保川の清掃など、しっかりと地域との交流を持っています。施設の催し物の夏祭りには焼きそばなどの模擬店や花火も打ち上げ、地域の方々も含め1000人位の参加者で賑わいます。

お話の後、施設の中を案内していただきました。おじゃました時には、クリスマスが近い時期だったため、入り口には大きなサンタクロースがみんなをお迎えし、玄関に入ると折り紙で作った、これまた大きなリースが！これは利用者さん、スタッフさんで作ったそうです。施設の中は天井、壁、2階まで吹き抜けになったイベントホール、作業室など、どこもクリスマス飾りが飾られるなどクリスマス一色で、説明していただいている最中もワクワク楽しくなってきました。



クリスマス一色

そんな中、機織りをする人、ピースストラップを作るグループ、ピースストラップの材料に使ったムクロジの木の皮を剥く人など色々と作業をしていらっしゃる方が、ムクロジの実を剥いて皮を剥くのが大変だそうです。それでも熱心に剥いていらっしゃいます。それぞれ自分の作業に集中する姿が見られました。

施設では、このご利用者さんの様々な障害を受け止め、ニーズに即した生活支援を提供し心身共に健全で明るい豊かな生活を送られるように、健康面、生活面、作業面などサービスの提供に努めていらっしゃるとのことです。

自然豊かな地で、地域とも関わりながら充実した支援を通して、幸せを感じる居場所だと思えました。師走のお忙しい中、対応していただきましてありがとうございました。(恒藤・小山)



ムクロジの実



人気の七色唐辛子



\*社会福祉法人相模福祉村 虹の家  
施設長 下山 正明  
〒252-0335 神奈川県相模原市南区下溝 4410  
電話番号 042-777-0111  
Eメール nijinoie@fukushimura.or.jp

理事会報告

1月13日(土) 理事会(理事の不出席)

1、報告事項

〈広報委員会〉

・ぼら通12月号の発送作業は若手ポ5名、ボランティア1名の方に参加いただいた。

〈情報部会〉

・使用済みフリパイドカードなどの募集をHPから削除する(換金できないため)。

〈ハンディキャブ委員会〉

・事務局委員会と同回りで会議を開催し、事務局サイドから課題などを出していただき有意義な話し合いの場となった。今月以降も同回で行う予定。

〈事務局委員会〉

・委員会設置規則の改定などを検討した。

〈講座検討委員会〉

・3月開催の講座のチラシを1月のぼら通「同封」のA4版の

〈映像企画実行委員会〉

・6作目の動画は若手ポさんと一緒に制作予定。

〈傾聴委員会〉

・情報交換会を2月9日に開催する。

〈その他〉

- ・新成人を祝つ会(1/21) 加藤会長が出席。
- ・青年会議所新年賀詞交歓会(1/16) 恒藤副会長が出席。
- ・さびがみはら市民活動センターの利用者懇談会(2/18) 小野事務局委員長が参加。

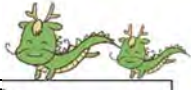
2、審議事項

- ・委員会設置規則の改訂を承認した。
- ・市社協主催の「災害に備える地域力講座」に松原理事が参加。
- ・次年度のボウリング大会は6月開催とし、準備を進める。

次回理事会は2月10日(土) 11時より



相模原ボランティア協会 2月の予定



日	時間	内容
2(金)	13:00~	映像企画実行委員会
7(水)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
9(金)	10:00~	傾聴情報交換会
10(土)	10:00~	ボラ協のあり方検討会議
	11:00~	理事会
17(土)	13:00~	ハンディキャブ・事務局合同委員会
20(火)	10:30~	ぼら通2月号印刷
	13:00~	ぼら通2月号発送
27(火)	10:00~	講座検討委員会

訃報

ボランティア協会設立当初から尽力いただいた山本和子さんが、過日逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りします。

なお、協会設立前から山本さんとお付き合いのあった西本理事に追悼のコメントをいただきました。

山本和子さんを偲ぶ

西本 敬

当協会設立当初からの会員であった山本和子さんは予てより療養中でしたが、1月9日に逝去されました。衷心よりお悔やみ申し上げます。

昭和十一年生まれとおっしゃっておられましたから、十分に生まれたいという見方もありましたが、山本さんのエネルギーの高さからすれば、「日本人は、まだまだ残り残した」とはたぶんないのだと思います。

私と山本さんのお付き合いは1969年秋の横浜での録音赤十字奉仕団に始まり、1978年の相模原市録音奉仕会、1981年の当協会設立へと続き、長い長い一緒に活動歴となりました。その中で、山本さんは一貫して新たなことへのチャレンジに満ち満ちており、共に取り組む活動は大変刺激的でした。

当協会では、副会長、財務委員長、特別事業委員長などを歴任され、2012年度まで多くの役割を担っていただきました。特に、協会の保有する財務資産の蓄積に対する貢献は大きいものがあります。チャリティコンサート開催などによる資産の形成、市民への協会の存在感の浸透などは、山本さんの強力なリーダーシップによって成し遂げられてきたものと思います。

当協会関連の活動のみならず、朗読を中心とした多様な活動を追求され、多くの場所で指導者としてこれらを牽引するなど、多忙な日々を過ごして来られました。私としては、同志としてのリーダーとしての山本さんを失った悲しみに、自分の間耐えなければなりません。合掌

会員のひろば

インドネシア留學生との交流

くさき ちよこ  
草間 千寿子



会員の皆さんへ、自由にご話してください。コーナーです。

私は子供の頃から外国へのあこがれが強く、大好きなテレビ番組は「兼高かおる世界の旅」でした。長じては暇を見つけて海外へ旅行する大人になりました。バックパッカーとしてオランダを気の向くままに旅をしていた時、バスで知り合った老婦人に家に招かれお茶を「馳走」になりました。帰国後、老婦人から届いた絵葉書は良い思い出になり、オランダは大好きな国の一つになりました。外国に行くたびに新しい発見があり、その国が好きになって帰国するのですが、思い返せば現地の人の親切がいつも一番の良い思い出だったと気づきました。親切にされたらうれしいし、お互いに良い関係を築くための一歩になる。

私も日本に来た外国の方に親切にしようと思い決めました。日本を好きになってもらいたいから。何ができるかと探していたら、チャンスがやってきました。それは相模原市の広報で見つけたショートステイ先の募集でした。当時の能開大の留学生に、暮れからお正月にかけての1週間ほどを一般家庭に滞在して日本の文化を体験してもらおう企画です。年越しそば・除夜の鐘・おせち料理・お雑煮・初詣・年賀状等々、冬は日本文化を伝える材料に事欠きません。

我が家はインドネシアの男子学生ウィルゴ君を預かりました。この1週間の滞在が今に続く長いお付

き合いになりました。彼は若くて真面目で、敬虔なイスラム教徒でした。

私は、イスラム教については、お酒を飲まない、豚肉は食べない、女性はスカーフで髪を隠す、その程度の知識しかありませんでした。

彼の滞在した1週間、食べ物に一番苦労しました。ハラルフードが今ほど普及しておらず、スーパーでは全て成分表示酒やみりん動物性の添加物を確認してから購入するので時間がかかりました。何を作って食べさせたか忘れてしまいました。彼が一番喜んで食べたものはサイゼリアのシーフードピザでした。

いろいろな体験をしてもらおうと考え、八景島の水族館へ行き、大晦日は横浜港でカウントダウンを体験してもらいました。残念ながらあまり感動しなかつたけど。

ショートステイが終わった後も、ウィルゴ君は時々我が家へ遊びに来ました。卒業してインドネシアに帰った後もやり取りは続いて、そしてうれしいことに結婚式に招待してくれたのです。もちろん、大喜びでジャカルタへ飛びました。

イスラム教の結婚式は、宗教上の決まりで証人たちが若い二人が結婚してもよいか協議し承認し、最



草間さんご夫婦も  
新郎新婦のよう~!  
ぼら通部員より



後に契約書にサインをするところから始まります。それが終わってから盛大な披露宴が始まります。生花で飾られた会場に食べ物並び、長老に扮した人や踊り子たちが練り歩きます。通りがかりの人もほとんど参加して、きぎやかで華やかで楽しい結婚式でした。日本と同じように引出物もありました。

お嫁さんは小学校の先生、とても気立ての良い可愛いわ娘さんでした。

ウィルゴ夫妻は何年か前にメッカ巡礼をしたと聞きました。インドネシアにはメッカ巡礼をするための積立金の制度や、巡礼のための有給休暇の制度もあるとのこと。聖地メッカには世界中から集まる巡礼者のための巨大な宿泊施設があるそうで、彼らはそこに2~3週間滞在してお祈りをしたそうです。巡礼を終えた人は周りから一目置かれるようです。

このようなお話は、ウィルゴ君との付き合いがなければ知りえなかつたことです。

私は国際交流を構えて考えたことはありません。ただ好きなことの延長線上に、外国の方との交流があっただけです。

そして、これからも続けて行けたら良いと考ええています。



ウィルゴ君の実家にて



# イベント・ボランティアのお知らせ

## ① 2/2(金)~2/3(土) “相模原SDGs EXPO “に遊びに来てください!

「持続可能なさがみはら」をつくることをテーマに、多くの企業や団体が社のホール(緑区橋本3-28-1)で、展示や体験型のブースを出展。

※2/2(金) 12時30分~16時30分は、子どもの居場所(子ども食堂や学習支援の場等)に関するブースも出展予定!



①の詳細はこちら

## ② 脳性マヒのある方のサポートのボランティア募集(場所: 中央区相生)

対象者が市障害者施策推進協議会市民委員として会議に出席する準備として、関連資料の確認や文書作成等を支援(会議1か月前に3~4回程度活動/活動日・時間は相談の上で決定)

## ③ 0~5歳の子どもの見守りのボランティア募集(活動場所: 中央区矢部)

親御さんが交流の場で編み物等の活動中、子どもを見守り(隔週水曜日午後/月1回でも可)

※②、③の活動にご興味のある方は、詳細をご説明しますので、ぜひお問い合わせください。

※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《今月のイラスト...  
ながよきまようたい。  
いしも一緒だよー》

### クイズの答え

1. 2024年3月 2. 2024年3月 3. 2024年3月

- ① 小鳥遊  
難読名字クイズです。  
「た〇〇〇」と読みます。
- ② 何森  
「5〇〇〇」と読みます。
- ③ 四月一日  
「わ〇〇〇」と読みます。



**編集後記**  
大相撲の初場所を国技館で観戦して来た。TVでは分からない熱気溢れる場内の観衆の雰囲気。取り組みに一喜一憂思わず声を上げ、拍手をする。皆さん推しの力士の名入りタオルを打ち振る。ただただ楽しい。ただし私の推しの力士は休場。ああ、残念。また行かなくちゃ。(杉)

### ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<12月の寄付者>

下里作衛様他7名の方からご寄付をいただきました。

<12月の寄付金>

総額 44,500円でした。

